

漁民四千人のデモ

水俣

船団くんで上陸

国会調査団に苦境訴う

水俣病問題をめぐる中央の動きも、あいつつ陳情でいよいよ活発となり、二、三日は国会調査団が水俣市を訪れたが、これに呼応して地元でも漁民四千人がデモを行なった。

この日、午前七時五十七分水俣駅 前九時二十分数十隻の船団を組んだ船の列車やトラック数台に分乗した東北漁協の約百人は宮間港に船隊を待機、その後東北、八代、天草など地区漁民約四千人が午

押し立て新道路を市役所に向けデモ行進を開始した。漁民たちは市役所で中村市長らに陳情し、中食のち正午すぎ水俣駅前まで再びデモ行進、同駅前広場で漁民総決

起大会をひらいたあと新日薬水俣工場正門前で氣勢をあげ村上順漁連会長ら約千人が工場側に希望事項を強く申し入れた。

なお松田鉄蔵団長（自民党熊本県選出）ら調査団は正午市立病院

に到着、村上順漁連会長のあいさつのうち同調査団が陳情文を朗読したのち松田調査団長から「みなさんの病状はよくわかる、誠意をもって報いる」と答えた。このあと一行は市立病院で水俣漁協から実状をつぶさにきいて同病院内の患者を慰問した。水俣漁協は国会調査団に陳情するわけでデモには加わらなかった。

いつぱう南北両署で編成する一個中隊、水俣、東北、八代などで編成した一個中隊の計百余人は事態を重視、それぞれ同中で警備態勢を整えた。



百間港にぞくぞく上陸する漁民たち